

# バリアフリーマップ作成支援の取り組み

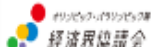
オリンピック・パラリンピック等  
経済界協議会

# オリンピックパラリンピック等経済界協議会

<http://kyougikai2020.jp/>

経済界が政府・自治体・大会組織委員会等と連携して、東京2020大会のムーブメントと、その後に残るレガシーづくりを推進

## ■ 経済界

オリンピック・パラリンピック等経済界協議会 

会長 トヨタ自動車 豊田社長

事務局 トヨタ自動車、パナソニック、NTT、NEC、富士通

計 99社

経団連

日商・東商

経済同友会

## ■ 政府（内閣官房）

心のバリアフリー分科会

汎用性のあるプログラム検討委員会

連携

## ■ 自治体

※ホストタウンは、第四次登録時点の団体数

ホストタウン(252)、オリパラ首長連合(565)

### THEME 1：スポーツ

・全ての人が**スポーツ**に親しむ機会を作り、**健康で豊かな生活**を送れる社会を実現

### THEME 2：バリアフリー

・障がい者と健常者のスポーツを通じた**交流促進**  
・**誰もがストレスなく快適に過ごせる共生社会の実現**

### THEME 3：日本の魅力

・**地方の魅力**を発信による、人・物・文化の交流促進  
・**日本ならではの文化・風習**等の国内外への発信

### THEME 4：復興・次世代育成

・これからの東北を担う次世代育成の好循環を生み出し「**日本の未来を牽引する**」**東北**を実現

2016年度活動実績：**104件**

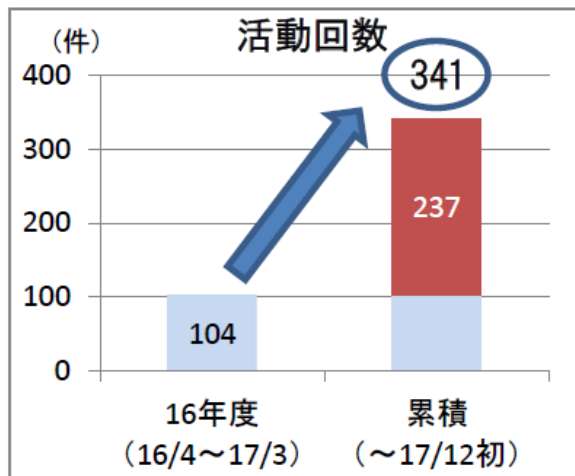
# <活動実績報告> 2017年度前半の振り返り

## ■ 2017年度の位置づけ：「本格始動の年」

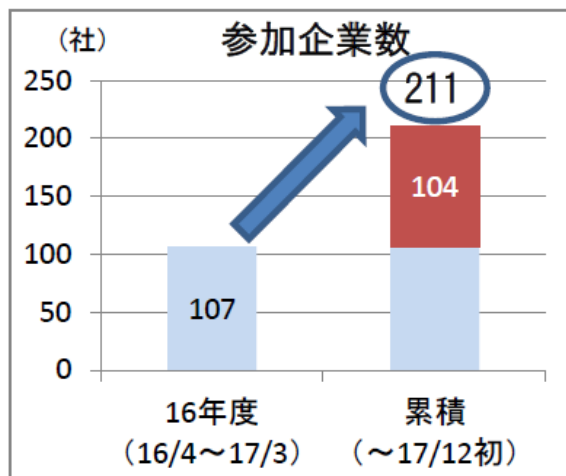
▽プログラム毎に目指すレガシーの姿を固め、自治体・地域企業の参加拡大によって、全国規模の活動へと広げる

▽地域性や、活動の発展性・継続性を見極め、各プログラムを層別し、協議会の取り組み全体をより骨太なものにしていく

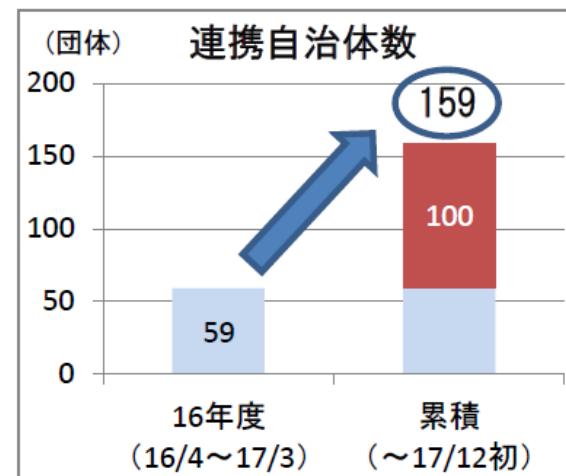
## <全体活動実績(17/12初までの累積)>



スポーツ（含む障がい者スポーツ）のテーマ中心に、昨年を大きく上回る伸び率で増加



関東・中部・九州中心に昨年を上回るペースで増加



東北・関東中心に、昨年を超える伸び率で増加

# 取り組みテーマ



誰もがストレスなく快適に  
過ごせる**共生社会**の実現

- バリアフリーマップ情報収集
- 心のバリアフリー普及
- 異文化交流



バリアフリーマップ情報収集



心のバリアフリー普及



異文化交流

幹事企業：富士通

2016年度  
活動実績：31件

参加企業：16社

Asahi  
アサヒビール

JR  
JR東日本

JTB

ANA

SECOM

ALSOX

DNP

TOYOTA

NEC

NTT

Panasonic



ヤマトホールディングス

LIXIL

RECRUIT



三越伊勢丹ホールディングス

# バリアフリーマップ情報収集 ～ 国や行政の動き ～

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、ソフト面、ハード面でのユニバーサルデザイン社会実現に向けた国や社会での動きが加速しています。

▶ **2016.4～ 障がい者差別解消法施行(内閣府)**

…不当な差別的取り扱いの禁止、合理的配慮の提供

▶ **2016.2～ ユニバーサルデザイン2020関係府省等連絡会議(内閣官房)**

「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、ユニバーサルデザイン化・心のバリアフリーを推進し、大会以降のレガシーとして残していくための施策を実行する」

・街づくり分科会(ハード面)、心のバリアフリー分科会(ソフト面) の設置  
(東京大会の競技会場、アクセス経路等の整備 などの検討)

▶ **2017.02 ユニバーサルデザイン2020関係閣僚会議設置(内閣官房)**

**「ユニバーサルデザイン2020行動計画」策定**

バリアフリー法を含む関係施策について、共生社会の推進や一億総活躍社会の実現の視点も入れつつ、2017年度中に検討を行い、そのスパイラルアップを図る

▶ **国交省における歩行空間のユニバーサルデザインに向けた取り組み**

2010.09 「歩行空間NWデータ等整備仕様」策定

2017.03 「歩行空間NWデータ等整備仕様」改定

2017.06 「バリアフリー法及び関連施策のあり方に関する検討会」開始(国交省)

} バリアフリーナビゲーション実現に向けて

誰もが自由に移動、生活できる社会を「情報」「ICT」でサポートしたい

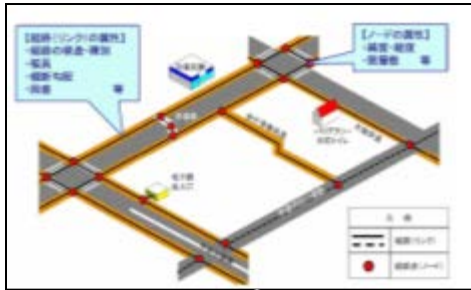


# バリアフリーマップ情報収集 ~ 収集 → 活用のイメージ ~

## 統一基準での情報収集

収集サポートツール等を利用して、**国交省ガイドラインに準拠した、全国共通で使えるデジタルデータを収集**

国交省「歩行空間NWデータ等整備仕様案」  
にもとづくバリアフリー情報



オープンデータ  
情報収集サポート

- ①歩行空間NWデータ等収集ツール「MaPiece」
  - ②「歩行空間NWデータ整備ツール」
- ・国交省ガイドラインに準拠(オープンデータ化を想定)
  - ・選択入力式採用、マニュアル等熟知せず収集可能

## オープンデータ化、蓄積

G空間情報センター（下記）や  
自治体サイト等での**オープンデータ公開**

G空間情報センター  
[https://www.geospatial.jp/gp\\_front/](https://www.geospatial.jp/gp_front/)



## 情報利用・活用

オープンデータ+α(独自の付加価値)により、**多様な事業主体による多様なサービスが提供可能に**

データ利活用  
検証

バリアフリー・ナビゲーション等  
(民間サービス事業者、自治体等)



2020に向けた多様な人の移動円滑化

図出展：国交省「オープンデータを活用した歩行者移動支援サービスの取組に関するガイドライン」を元に作成



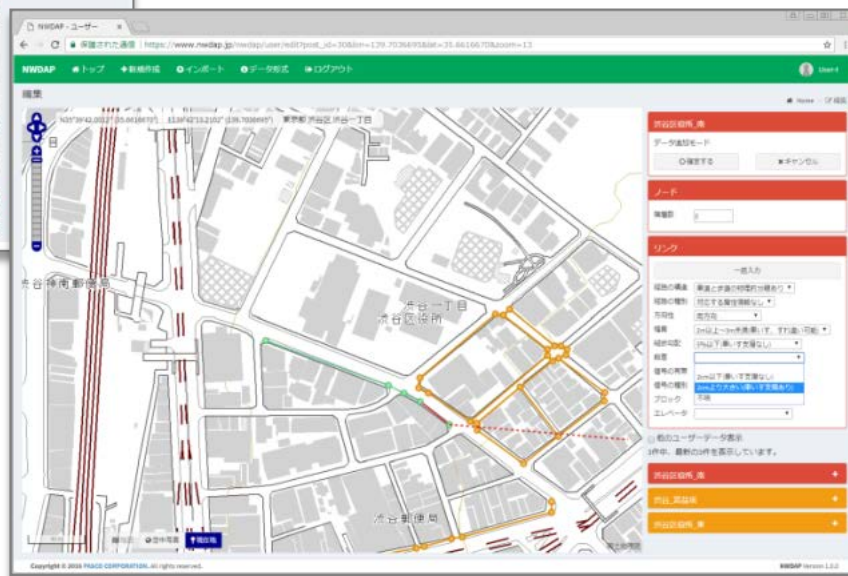
# (参考②) 「歩行空間NWデータ整備ツール」のご紹介

- ・国土交通省の「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案（H29.3）」に準拠し、歩行経路上にある段差や勾配、幅員等のバリアフリーに関する情報をデータ化するWebツール
- ・国土交通省が、監修し(株)パスコと共同開発した。2017年9月よりツールのプログラムファイルを国の機関、地方公共団体、大学等の研究機関を対象に提供開始
- ・バリアフリーに関する情報の入力は選択方式で簡易に行うことが可能
- ・入力したデータは、オープンデータ化を想定し、CSV、Shapefile、GeoJSONの3つの形式で出力



作成データ閲覧画面

データ作成画面



CSV  
Shapefile  
GeoJSON

アプリでの利用



データカタログ  
サイトで公開



\* ツールを使ったデータ整備は、国立代々木競技場周辺、千駄ヶ谷駅周辺のほか、国土交通省の事業等で実施



# バリアフリーマップ活動実績

## ■ 活動実績：17件のボランティア活動

時期	バリアフリー情報の収集活動
2016年8月	千代田区 飯田橋駅周辺エリア
2016年12月	渋谷区 代々木周辺エリア
2017年6月	千代田区 千鳥ヶ淵エリア
2017年6月	仙台市陸上競技場周辺
2017年7月	千代田区神保町周辺エリア
2017年7月	伊豆市温泉街周辺エリア
2017年8月	渋谷区 実践女子大学周辺エリア
2017年9月	千代田区九段下周辺エリア
2017年9月	大阪府長居周辺エリア
2017年9月	伊豆市修善寺駅周辺エリア
2017年10月	渋谷区千駄ヶ谷周辺エリア
2017年10月	江東区豊洲にてBFマップ作成体験
2017年11月	千代田区秋葉原駅周辺エリア
2017年11月	渋谷区超福祉展にてBFマップ作成体験

時期	バリアフリー情報の収集活動
2017年11月	名古屋駅周辺エリア
2017年11月	横浜市 バリアフリー作成支援
2017年11月	調布市 バリアフリー作成支援



## ■ 活動予定：2件のボランティア活動

時期	バリアフリー情報の収集活動
2018年1月	千代田区 東京駅周辺エリア
2018年1月	新宿区 新宿駅東口周辺エリア

# 国交省基準ツールでの収集件数

## 全国計

約120km 計4,200件

## 仙台市

・仙台市陸上競技場周辺  
約4.0km 計60件

## 渋谷区

・代々木体育館周辺  
・千駄ヶ谷駅周辺  
・原宿一部エリア  
約20km 計630件

## 調布市

・東京スタジアム～飛田給駅  
・東京スタジアム～西調布駅  
約15.3km 計645件

## 大阪市

・長居スタジアム～長居駅  
約4.0km 計103件

## 伊豆市

・修善寺駅前周辺  
・修善寺温泉街周辺  
約9.0km 計260件

## 千代田区

・武道館・九段下周辺  
・秋葉原駅周辺  
約54km 計2,100件

## 横浜市

・横浜スタジアム～日本大通り駅  
・横浜スタジアム～関内駅  
約10.2km 計343件

## 江東区

・有明テニスの森、有明スタジアム  
・夢の島公園周辺  
約4km 計60件

# 渋谷区における取組み

## 国土交通省 代々木競技場周辺のバリアフリー情報収集への協力

日時：2016年12月13日(火) 13時～ 参加者：40名（社会人ボラ）  
主催：国土交通省、経済界協議会

- ・国土交通省が推進する「歩行空間ネットワークデータ」を、多様な主体が整備更新できることを目指しバリアフリー情報収集と課題抽出を実施



## 千駄ヶ谷周辺（オリパラベニュー周辺）

日時：2017年10月12日(木) 13時～ 参加者：38名（社会人ボラ・大学生）  
主催：超福祉展事務局（渋谷区）、経済界協議会

- ・千駄ヶ谷駅、北参道駅～東京体育館周辺のバリアフリー情報の収集
- ・調査結果は、渋谷区「超福祉展」において配布するマップに活用



参加者に配布したマップ





# 渋谷区における取組み

## 超福祉展

日時：2017年11月11日(土) 13時～ 参加者：50名（小学生ボラ・大学生）

主催：超福祉展事務局（渋谷区）、経済界協議会

- ・渋谷区「超福祉展」において、渋谷区内の小学生と保護者、大学生とともにワーク
- ・車いす体験を行いつつ、歩道の傾きや障害物等のバリア情報を収集
- ・全員でバリア情報や各自が得た気づきを共有し、それをマップにまとめました



当事者による講習



自ら車椅子に乗って情報収集



振り返り、気づきの共有



「MappinDrop」を使って  
小学生がBFマップを作成



# オリンピック・パラリンピックに向けた大学連携拡大

- ・組織委員会はオリ・パラ教育の推進やグローバル人材の育成、各大学の特色を生かした取組みを進めていくために、2014/6より全国の大学・短期大学と連携協定を締結(2017/12現在801校)
- ・実践女子大はアンカー役として、高校生や他大学を巻き込むなど積極的に活動を拡大、経済界協議会は本取組みを全面的にサポート

## 高校生と一緒に考えるフォーラムin 実践女子大

日時：2017年8月22日(火) 13時～  
参加者：50名(大学生、高校生(6校))  
主催：実践女子大

- ・障がい当事者講演、心のバリアフリー理解
- ・街中のバリアの解消に向け、大学生・高校生・企業人でグループディスカッション



事前に大学生が  
街中のBF調査



高校生が中心になり  
模造紙にまとめる



## 女子大生フォーラム in 実践女子大

日時：2017年12月16日(土) 13時～  
参加者：50名(大学生(8校))  
主催：実践女子大、共催：渋谷区、協力：協議会

- ・外国人、視覚障がい、肢体障がい、高齢者を想定した、グループディスカッションの実施
- ・内閣官房からの「ユニバーサルデザイン2020行動計画」講話、ポッチャ体験会も併せて実施



## イベント

### 横浜スタジアム・東京スタジアム周辺BF情報収集

【2017/11/28】  
参加者：24名  
・協議会 14名  
・フェリス女子大 8名  
・横浜市社協 2名

【2017/11/29】  
参加者：24名  
・協議会 10名  
・東京女子体育大10名  
・白百合女子大 1名  
・調布市役所 3名





# 千代田区における取組み

調査エリア	A:北の丸～御茶ノ水エリア		B:秋葉原～神田エリア	C:東京駅～有楽町エリア
調査日	7月14日、7月28日	9月5日	11月1日	【予定】2018年1月12日
参加者	101名（2日合計）	35名	34名	【予定】30名程度
参加組織	経済界ボラ、千代田区福祉総務課	経済界ボラ、千代田区福祉総務課	経済界ボラ、大学生ボラ 千代田区 福祉総務課、オリパラ担当、観光協会	経済界ボラ、大学生ボラ 千代田区各部局
エリア特色	住宅地	2020（日本武道会）	商業地	2020（国際フォーラム）

横断歩道・路面を調査



グループ内で議論しつつ調査



車いすに乗りながら調査



傾斜はタブレットが自動計測



障がい当事者による講話



調査後の気づきを共有



A:北の丸～御茶ノ水エリア



B:秋葉原～神田エリア



C:東京～有楽町エリア

調査対象  
エリア

# その他の自治体における取組み

## 伊豆市

障がい者が訪れやすい街づくりへ

7/18 伊豆市長会見

7/19 修善寺温泉街周辺エリア  
(伊豆市職員13名、経済界協議会7名)

9/29 修善寺駅周辺エリア  
(伊豆市職員10名、静岡県3名、協議会7名)



## ジャパンウォークイベント

障がい者、高齢者、ベビーカー、誰でも歩ける  
共生型ウォーキングイベントを目指して

5/21 仙台市ウォーキングコース周辺  
学生・社会人ボランティア41名  
調査総延長：約4km、60件投稿

9/9 大阪市ウォーキングコース周辺  
学生・社会人ボランティア36名  
調査総延長：約4km、130件投稿



JW in 仙台



JW in 大阪







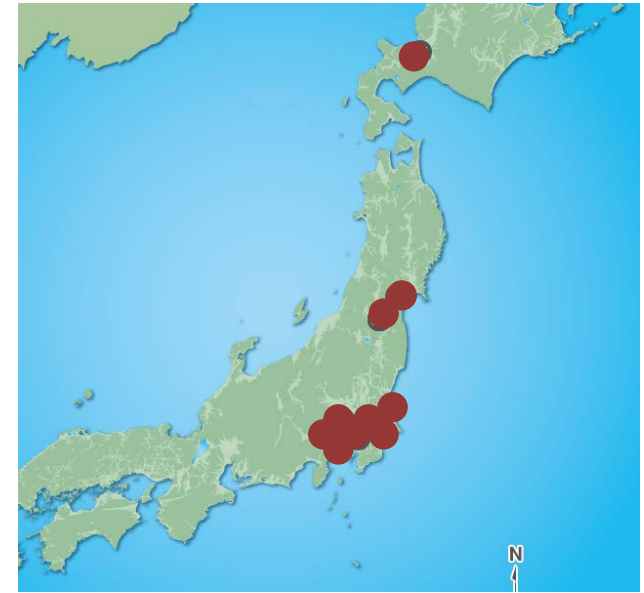
# 活動拡大／レガシー化に向けて

## ～ 心のバリアフリー教育も踏まえた情報収集活動例 ～

オリパラベニュー(38施設エリア\*)の22自治体から調査

- |                 |                 |               |
|-----------------|-----------------|---------------|
| 江戸川区 (1)        | <b>千代田区 (2)</b> | 茨城県鹿嶋市 (1)    |
| <b>江東区 (10)</b> | 練馬区 (1)         | 埼玉県さいたま市 (2)  |
| 品川区 (2)         | 港区 (1)          | 埼玉県川越市 (1)    |
| <b>渋谷区 (2)</b>  | <b>調布市 (2)</b>  | 千葉県長生郡一宮町 (1) |
| <b>新宿区 (1)</b>  | 北海道札幌市 (1)      | 千葉県千葉市 (1)    |
| 墨田区 (1)         | 宮城県宮城郡利府町 (1)   | 神奈川県横浜市 (2)   |
| 世田谷区 (1)        | 福島県福島市 (1)      | 神奈川県藤沢市 (1)   |
|                 |                 | 静岡県伊豆市 (2)    |

\* 確定済みの競技場、( )は施設エリア数。選手村・MPC/IPC等除く



付加価値を付け、持続性のある情報収集活動へ

障害当事者による講演

+

車いす／白杖体験

+

大学（教育）連携





# 収集した情報の利用・活用

～ユニバーサルデザインマップ「Japan Walk Guide」のご紹介～

収集した情報の需要検証(アクセスログ)、情報利活用に向けた必要機能検討を目的に、スマホでルート上バリア情報や設備情報を登録/表示し、個人に合わせたカスタマイズ(障がいなどの特性に応じたフィルタリング)や音声案内等ができるWebサービスを提供しております。※誰でも無料で利用可能

## ■ 掲載情報種類 (例)

### <ルート情報>



注意情報 階段 スロープ イスレーター エレベーター

### <交通機関>



駐車場 バス停 タクシー 改札

### <観光・便利情報>



街の魅力 トイレ 避難所 AED インフォメーション WiFi バイクシェア

## ■ 機能、特徴

### ・音声読み上げ機能

自分の位置から半径40m以内の施設情報を自動読み上げ

### ・写真をメインとした直観的にわかるUD情報

一部施設では360度画像を提供

### ・個人に合わせたフィルタリング など



## ■ 活用実績

- 第1回ジャパンウォーク 2016.5 (東京)
- 第2回ジャパンウォーク 2016.11(東京)
- 第3回ジャパンウォーク 2017.6 (仙台)
- 第4回ジャパンウォーク 2017.10(大阪)



※ オリパラパートナー5社の実行委員会企画・開催



## ■ 現在の登録数

2017年10月末時点登録件数 約5000件





# (参考) Japan Walk Guide機能検討

ユーザのUI/UX向上をめざし、2月を目途にでジャパンウォークガイド(JWG)に下記機能の実装予定  
(詳細仕様、時期等は変更となる可能性があります)

<現状> 入力機能、及び、登録情報を地図上に表示する基本機能のみ



## ①場所検索機能



## ②ルートの色分け表示機能



## ③おすすめルート&選択機能

※ナビではなく、固定のオススメルート

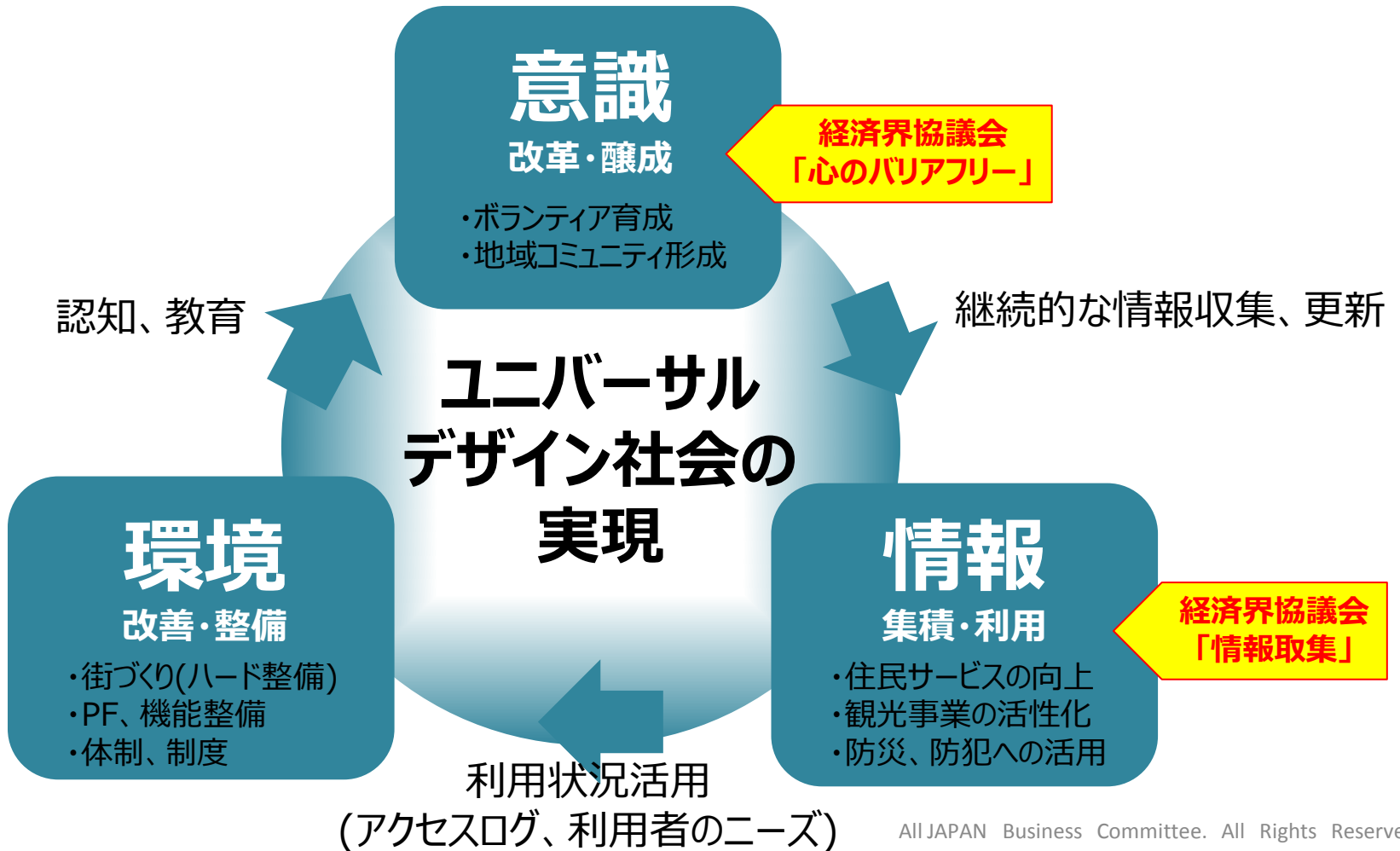


※ その他、ユニバーサルデザインを意識した全体デザインの見直しも検討

# レガシー化に向けて

## ～ ユニバーサルデザイン社会実現に向け解決すべき課題 ～

- ・ユニバーサルデザイン社会(共生社会)を実現する上で、**解決すべき障壁は「環境」「意識」「情報」**
- ・**環境整備や意識醸成のサイクルを確立し(= 3つの障壁をクリアし)、**  
レガシーとして**2020以降も残すべき**ユニバーサルデザイン社会の実現に向けた取り組みを支援したい



# 参考資料

# 参考：心のバリアフリー普及



誰もが暮らしやすい社会づくり

- バリアフリーマップ
- **心のバリアフリー普及**
- 異文化交流

## ユニバーサルデザイン2020関係閣僚会議

平成29年2月20日設置 総理以下13名の大臣で構成

### ユニバーサルデザイン2020行動計画

心のバリアフリー

街づくり

## 心のバリアフリー分科会

経済界協議会を代表して富士通が参加

## 研修プログラム検討委員会

経済界協議会からの参加企業 5社  
JTB、ANA、トヨタ自動車、JR東日本、富士通

とりまとめ

「心のバリアフリー」  
に向けた  
汎用性のある  
研修プログラム

# 参考：心のバリアフリーとは

「心のバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことである。

『ユニバーサルデザイン2020行動計画』より引用



「心のバリアフリー」を実践する上での主要なポイント

## ①「障がいの社会モデル\*」を理解すること

\*障がいの社会モデルとは、障がい者が社会生活を送る上で経験している不利益や困難は、心身の機能障がいによって生まれているというよりも、むしろ障がい者を取り巻く社会の仕組みによってもたらされているという考え方。

## ②障がいのある人へ差別を行わないよう徹底すること(差別禁止と合理的配慮)

## ③自分とは異なる条件を持っている方とのコミュニケーションをとる力を養い、すべての人が抱える困難や痛みを想像し、共感する力を培うこと



# 参考：心のバリアフリー普及活動実績と今後の予定

## ■ 活動実績：21件のボランティア活動

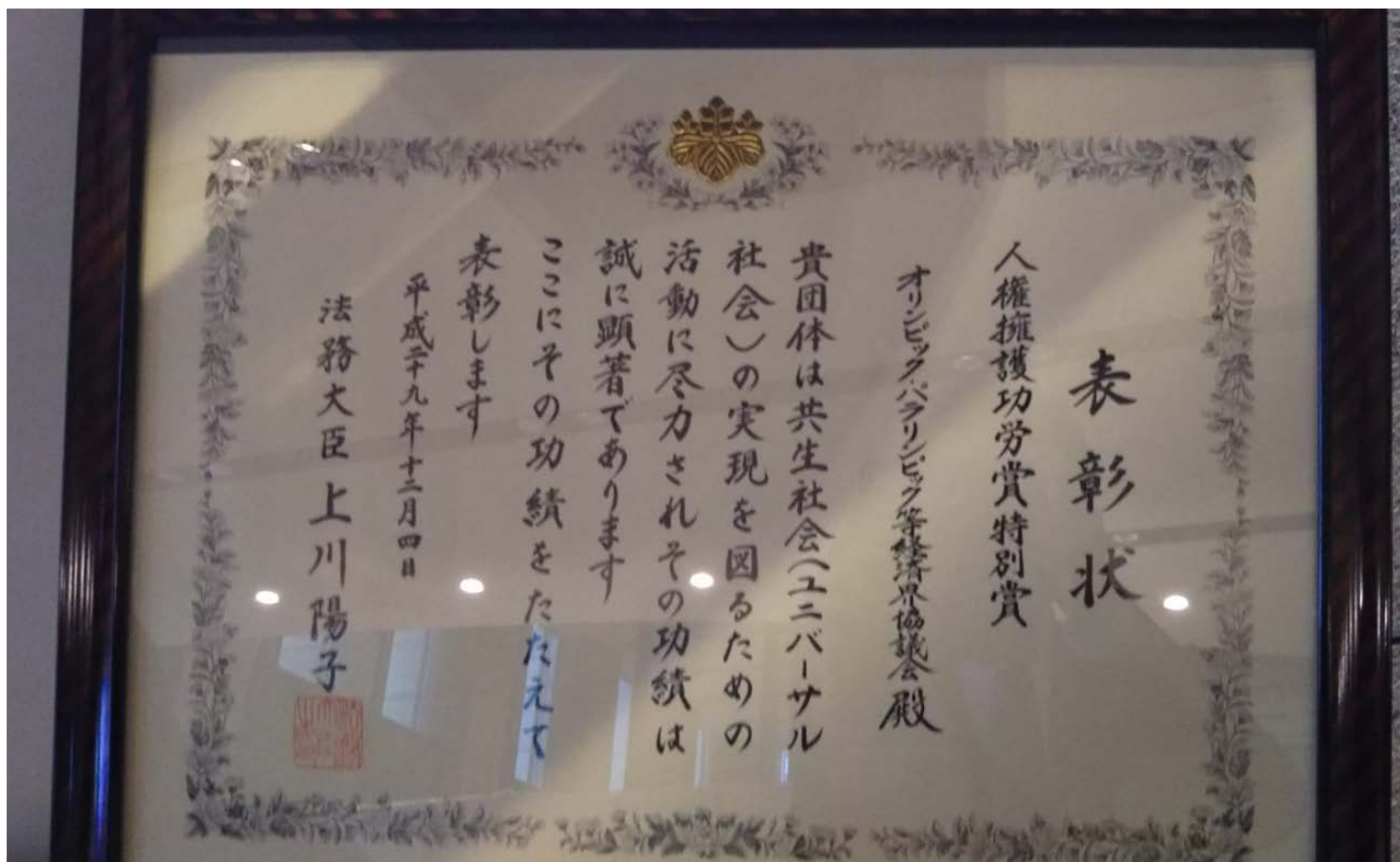
時期	バリアフリー情報の収集活動
2016年4月	川崎市 富士通春祭 車椅子体験会
	⋮
2017年2月	横浜市 法務局・ボーイスカウト連携 車椅子体験会
2017年3月	田川市 職員むけ視覚障がい者体験会
2017年3月	IMAGINE多様性2020イベント開催
	⋮
2017年7月	トヨタ本社 異業種交流 パラリンピアン講演
2017年8月	法務省連携 子ども霞ヶ関見学デー
2017年8月	イオン幕張新都心における千葉オリパイベント (森田知事、鈴木長官)



## ■ 今後の予定：1件のボランティア活動

時期	内容
2017年8月	名古屋市・商工会議所向け「心のバリアフリー研修」

活動全体  
(実績+予定)  
: **22件**



# 参考：異文化教室概要



誰もが暮らしやすい社会づくり

- バリアフリーマップ
- 心のバリアフリー普及
- **異文化交流**

- ▽ 東京2020大会等を契機に、異文化交流を行う自治体に対し、企業の海外駐在経験者等を講師として派遣
- ▽ 交流先の国の言語・文化・歴史を学び、自治体と交流国との様々なつながりを作っていく

## 事例紹介



市長と面会

日時	2016年12月22日(木) 18:30～20:00
場所	滋賀県立文化産業会館 第一会議室
主催	米原市・東京オリンピック・パラリンピック 滋賀交流推進実行委員会
来場者数	100名



ANA  
パイロット候補生の講演



パナソニック  
駐在経験者の講演



富士通  
ニュージーランド人スタッフの講演



# 参考：異文化教室活動実績と今後の予定

## ■ 活動実績：10件のボランティア活動

時期	バリアフリー情報の収集活動
2016年10月	高山市 通訳ボランティア派遣
2016年11月	仙台市 イタリア異文化教室
2016年11月	秋田県 タイ異文化教室
2016年12月	山形県 ポーランド異文化教室
2016年12月	米原市 ニューージーランド異文化教室
2016年12月	郡山市 オランダ異文化教室
2017年2月	燕市 モンゴル異文化教室
2017年3月	士別市 台湾異文化教室
2017年4月	高山市 通訳ボランティア派遣
2017年8月	高知県南国市 シンガポール異文化教室



## ■ 今後の予定：1件のボランティア活動

時期	内容
2017年10月	船橋市 アメリカ異文化教室開催(予定)

活動全体  
(実績+予定)  
: **11件**